

# Sagara Siemens Collaboration Dinner 2019



今年も、ITEM 期間中の4月12日（金）に Sagara Siemens Collaboration Meeting を開催しました。この会は、1年間のコラボレーション活動について共有し、次年度への思いを新たにする恒例行事になっています。

4回目となる今回は、ドイツ本社よりダイアグノスティックイメージング（DI）事業本部ヘッドのクリストフ・ツィンデルをはじめ、アジアパシフィック（AP）代表のエリザベス・シュタウディンガー、APにおけるサイエンス&コラボレーション責任者のポール・ジャモスもご参加いただき、当院スタッフと研究開発における現状と今後の発展について意見を交わしました。

まず事業報告として、相良病院の相良吉昭理事長より乳癌検診車導入による検診事業の拡充と2020年の新病院グランドオープンに先駆けて2019年1月に開設した新棟の報告致しました。

その後、画像診断部 大迫俊一技部長より乳腺線量に関する研究、また、防衛医科大学校病院 村上和香奈先生、および放射線診断センター長 佐々木道郎先生より ECR などの国際学会で発表した研究内容など、それぞれの分野における研究成果を紹介させていただきました。

Siemens Healthineers 日本代表の森秀顕より、日頃から相良理事長をはじめスタッフ全員の女性医療に対する熱い思いに胸を打たれることが多く、この会も私たちに次に何ができるかを考えるきっかけを与えてくれる有意義なものです、という挨拶がありました。

最後に AP 代表のエリザベス・シュタウディンガーより、ここ数年で成し遂げてきたことに対する謝辞と、今後も積極的に共同研究を行い、両者で確立していく女性医療のロールモデルを全ての患者さまに届けるべく、ともにアジアに発信していきましょうという熱いメッセージとともに、会が締めくくられました。